

職業能力開発研究

第 21 卷

2003 年

〈論 文〉

- | | | |
|--|-------|----------------------------------|
| 学習支援教材開発の方法
e ラーニングと評価 | | 島田 昌幸
新妻 幹也
菊池 達也
平村 良紀 |
| PPM手法を適用した訓練評価手法構築の試み | | 新井 吾朗
砂田 栄光 |
| 高度熟練技能者の育成に向けた東京都の試み
—「東京ものづくり名工塾」の実施を通して— | | 堤 一郎 |
| 我が国のキャリア開発の実際の課題
—イギリス、アメリカ、シンガポール及びマレーシアの実態調査から— | | 郡山 力郎 |
| 『大いなる遺産』における不安定な人間関係 | | 大和久吏恵 |
| 商法の平成における改正とその論点 | | 桜井 博行 |

〈研究ノート〉

- | | | |
|-------------------------|-------|-------|
| 大学生の学科間・学校間の職業興味傾向の比較分析 | | 戸田 勝也 |
| 受講者意識から見た離転職者訓練の課題 | | 戸田 勝也 |

「職業能力開発研究」誌投稿規定

【投稿規定】

原則として職業能力開発総合大学校の教職員に限る。共同執筆者は学外者であってもよい。

【投稿の種類】

職業能力開発に関する論文、研究ノート、資料、紹介または解説とする。原則として、他紙に掲載されたものを重複して投稿できない。

【原稿の長さ】

論文、研究ノート、資料、紹介又は解説のいずれにおいても400字詰原稿用紙約50枚（図表含む）を標準とする。英文抄録をつける。

【投稿、採択、校正】

投稿原稿は「職業能力開発研究」編集専門部会事務局宛に提出する。原稿の受付けは年1回とし、締切日は別に定める。原稿の採否は編集専門部会で決定し、投稿者に通知する。査読の結果、修正を要する場合は速やかに修正のうえ、再提出して審査を受けなければならない。校正は著者が3回まで行い、それ以降は編集専門部会に一任する。掲載された原稿は返却しない。

【執筆規定】

1. 本文：400字詰原稿用紙50枚（図表を含む）を使用のこと。ワードプロセッサ等を用いる場合は64字×27行（A4版横置き・袋とじ縦割り）とすること。
 2. 英文抄録：200語以内とし、A4版用紙にダブルスペースで印字する。
 3. 図表（写真を含む）：1つの図表ごとに別紙を用いる。図表は白紙（又は淡い方眼紙）にトレース又は、プリンタ、プロッタ等で作成し、できあがり時の寸法を記すこと。
 4. 文献：本文の最後に列記する。書き方は下記による。
 - ①雑誌＝著者名、表題、雑誌名、巻（号）、発行年（西暦）、引用ページ
 - ②書籍＝著書あるいは編者名、書名、発行所、発行年（西暦）、引用ページ
 5. 用字・用語：現代かなづかいとする。アラビア数字を使うこと。
-

職業能力開発研究

第 21 卷

目 次

〈論 文〉

学習支援教材開発の方法 eラーニングと評価	島田 昌幸 新妻 幹也 菊池 達也 平村 良紀	1
PPM手法を適用した訓練評価手法構築の試み	新井 吾朗 砂田 栄光	21
高度熟練技能者の育成に向けた東京都の試み —「東京ものづくり名工塾」の実施を通して—	堤 一郎	45
我が国のキャリア開発の実際的課題 —イギリス、アメリカ、シンガポール及びマレーシアの実態調査から—	郡山 力郎	67
『大いなる遺産』における不安定な人間関係	大和久史恵	123
商法の平成における改正とその論点	桜井 博行	137

〈研究ノート〉

大学生の学科間・学校間の職業興味傾向の比較分析	戸田 勝也	159
受講者意識から見た離転職者訓練の課題	戸田 勝也	167

(英文要約)